



医療教育開発センター ニュースレター

NEWS LETTER

Vol.21

Contents

- 1 巻頭言
- 2 副センター長の紹介

1 巻頭言



医療教育開発センター長 赤池 雅史

医療教育開発センターは、医療系全領域にわたる教育・研究・診療組織がひとつのキャンパスに集約している徳島大学の強みを基盤として、医療系学部・大学院の各組織を繋いだ教育連携支援を行い、高度専門医療人や優れた生命科学研究者の育成を目指しています。大学院教育としては、共通科目e-learning、英語プログラム、Tokushima Bioscience Retreat、教育クラスターの実施支援ならびにこれらのプログラムの継続的改善に取り組みます。専門職連携教育については、チーム医療入門、学部連携PBLチュートリアル、チーム医療臨床実習の3ステップで構成され

る「学年積み上げ式専門職連携教育プログラム」の充実を目指します。シミュレーション教育については、引き続きスキルラボの管理運営を行うとともに、メディカルトレーニング・ラボならびにクリニカルアナトミー・ラボと連携した卒前卒後一貫の低侵襲手術手技トレーニングプログラムや理工学部学生等を対象とした医光融合人材育成にも取り組みます。また、医療系学部のフィジカルアセスメント等の基本的診療技能教育、模擬患者参加による医療コミュニケーション教育についても充実をはかりたいと思います。新型コロナウイルス感染症の拡大により、医療教育には課題が山積しており、医療系学部・教育部の連携・協力が不可欠です。皆様のご指導ならびにご支援をよろしくお願い致します。

2 副センター長の紹介



大学院医歯薬学研究所 医学域 医科学部門 医療教育学分野 准教授
吾妻 雅彦

医療系学部による多職種連携教育・実習は、1年次、中学年、高学年の3ステップでの実施が定着してまいりました。実習内容のブラッシュアップを進め、臨床現場を意識したより実践的な職種連携実習となるよう、一層の連携を進めたいと考えています。



大学院医歯薬学研究所 薬学域 薬科学部門 医薬品機能生化学分野 教授
土屋浩一郎

薬学部では令和3年度入試から薬剤師資格を基盤とする「新6年制課程」として一本化いたします。新6年制ではこれまで以上に医療を理解した薬学生を養成することが必要であることから、今年度はセンターの皆様のご協力をいただきながら医療教育体制の充実に向けて取り組みます。



教養教育院 医療基盤教育分野 教授
岩田 貴

専門医の経験を生かして、初年次教育をはじめ高学年・研修医・生涯教育まで一貫したシームレスな医療教育に携わっております。シミュレーション教育などに関し何でもご相談ください。



大学院医歯薬学研究所 医学域 栄養科学部門 予防環境栄養学分野 教授
高橋 章

医科栄養学科は、これからの社会に対応できる人材育成を目指して大学院教育の改革に取り組んでいます。栄養学の専門性をいかしつつ、多職種連携教育やシミュレーション教育など、蔵本地区の教育連携にも尽力していきます。



大学院医歯薬学研究所 歯学域 口腔科学部門 口腔分子病態学分野 教授
石丸 直澄

未曾有の危機的な状況の中で、優秀な医療人をいかに育成するのか、ピンチをチャンスに変えられるのか、医療教育の本質が問われる時が来ました。日本の医療を守るためには、徳島から心ある医療人を大切に育て上げることが肝要と考えます。



大学院医歯薬学研究所 保健学域 保健科学部門 臨床腫瘍医療学分野 教授
近藤 和也

保健科学教育部は、高度専門医療人(がん専門看護師、慢性看護専門看護師、助産実践コース、養護教諭専修免許、医学物理士コース)を育成するプログラムを有し、たくさんの大学院生が入学し、多職種カンファレンスやシミュレーション教育を受けています。海外留学生も増え、英語プログラムの講義に参加しています。これからも医療教育開発センターの発展に尽力していきたいと思ひます。

医療系学部における組織・領域横断的大学院教育支援

2019(R1)Tokushima Bioscience Retreat

日程:2019年9月12日(木)~9月14日(土)

場所:リゾートホテル オリビアン小豆島

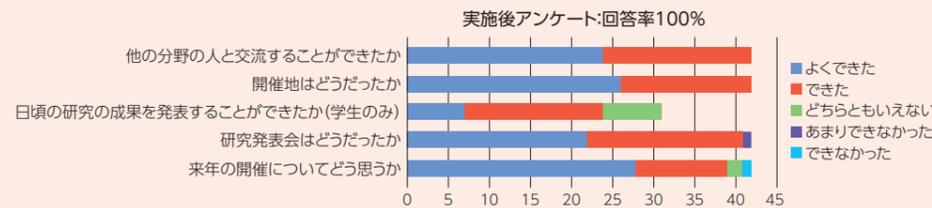
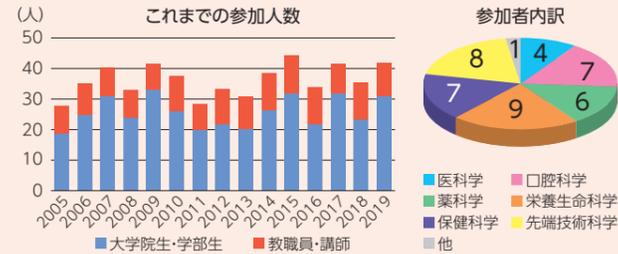
特別講師:安西 尚彦 先生(千葉大学大学院医学研究院 薬理学 教授)

演題:「Advice of promotion: society activity for carrier development

出世のススメ:キャリア形成に生かす学会活動」

参加者:学生31名,教職員11名

15回目の開催です。徳島大学の全学的取り組みとして、蔵本・常三島キャンパスより参加者を募り、Presentation, discussion, recreationを英語で行っています。



教育クラスター活動支援

①コアセミナー開催支援(2019年度25回開催)

②6クラスターそれぞれが開催するミニリトリート開催支援



| クラスター | 日時 | ミニリトリート参加人数(人) | | | | |
|----------|-------------|----------------|-----|----|----|-----|
| | | 院生 | 学部生 | 教員 | 講師 | 計 |
| 心・血管 | 2020.2.24 | 20 | 5 | 13 | 1 | 39 |
| 感染・免疫 | 2020.1.16 | 8 | 2 | 28 | 1 | 39 |
| 肥満・糖尿病 | 2020.1.17 | 19 | 4 | 32 | 1 | 56 |
| 骨・筋とCa | 2020.3.6中止* | - | - | - | - | - |
| 脳科学 | 2020.2.15 | 16 | 2 | 12 | 1 | 31 |
| 発生・再生・遺伝 | 2020.2.19 | 5 | 2 | 9 | 1 | 17 |
| 合計 | | 68 | 15 | 94 | 5 | 182 |

*徳島大学のCOVID-19対応方針による

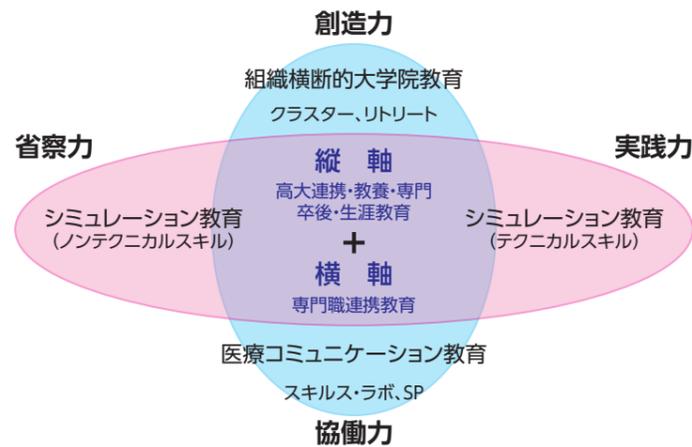
大学院共通科目e-learning運営支援

医科学、口腔科学、薬科学、栄養生命科学、保健科学からなる5つの医療系教育部における8つの共通科目のコンテンツ撮影、編集、配信を支援しています。

医療コミュニケーション教育(模擬患者(SP)参加型教育の実施・発展支援)

模擬患者育成および派遣

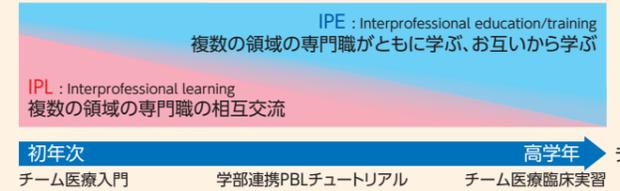
一般市民ボランティアである模擬患者の協力を得て、医療系学科の医療コミュニケーション授業・実習・試験を支援しています。様々な「医療者-患者」の疑似体験から自分自身のコミュニケーションを振り返ります。教員-学生-模擬患者の三者の異なる立場からの意見交換から学びます。



医療系学部における専門職連携教育支援

《専門職連携教育の目標》

- 医療専門教育を受けているすべての学生が、より安全で、より質の高い医療を提供するためにともに学び、お互いから学びあう。



①第13回チーム医療入門蔵本地区1年生合同WS

2019(R1)年9月30日(月) 13:00-17:00

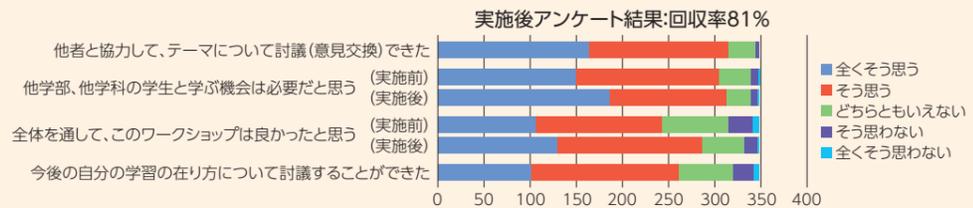
テーマ 緩和ケア実現のために医療人に求められること

基調講演 緩和ケアの現場におけるチーム医療 大野智先生(島根大学医学部付属病院 臨床研修センター センター長 教授)

- 到達目標
- ①他者と協力して、テーマについて討議(意見交換)し、プロダクトを作成できる。
 - ②班で討議した結果を他の班にプレゼンテーションできる。
 - ③今後の自分の学習のあり方について討議することができる。

参加学生 429名(医学科112名、栄養学科51名、保健学科看護学専攻73名、保健学科放射線技術科学専攻37名、保健学科検査技術科学専攻15名、歯学科39名、口腔保健学科15名、薬学科43名、創製薬科学科44名 出席率99%)

概要 初年次教養教育(医療基盤教育)5-6名のグループに構成された異なる学科の学生が相互交流し、異なる観点から意見交換を行い、プロダクトの作成、意見交換を行う。



②第7回学部連携PBLチュートリアル

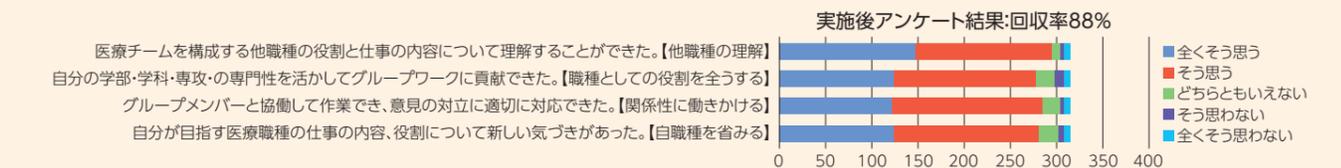
2019(R1)年11月6日(水)9:00-12:00、11月13日(水)9:00-12:00

テーマ 在宅医療

- 到達目標
- ①患者シナリオをもとに全人的な視点からグループで討議できる。
 - ②不足の知識や情報について分担して自己学習し、その内容をグループメンバーに共有できる。
 - ③抽出した問題点についてプロブレムマッピング方式を用いて検討し、解決方法を立案、修正できる。
 - ④他職種の役割を理解し、同時に自職種の役割についても理解を深める。

参加学生 363名(医学科4年生121名、医科栄養学科3年生51名、歯学科4年生43名、口腔保健学科3年生15名、保健学科看護学専攻4年生76名、保健学科検査技術科学専攻4年生7名、薬学部5年9名、保健学科放射線技術科学4年生41名)

概要 患者シナリオを用いて、グループ討議と自己学習を行いながらプロブレムマッピングを作成、全人的な視点から問題点の解決方法を立案する。



③チーム医療臨床実習

到達目標 実際の患者の支援(治療やケア)について、他職種で討議する。

概要 臨床実習の現場での受け持ち患者のケア、治療について、多学科の学生で討議する。

第11回チーム医療臨床実習 2019年7月11日(木) 14:00-15:00

参加学生 医学科5年5名、薬学部5年4名

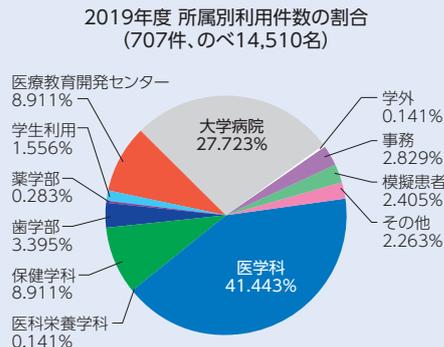
第12回チーム医療臨床実習 2020年2月5日(水) 15:00-16:00

参加学生 医学科4年6名、医科栄養学科2名、徳島文理大学薬学部2名



臨床技能学習施設(スキルズ・ラボ) Clinical Skills Laboratory (CSL)

スキルズ・ラボは蔵本キャンパスのほぼ中央に位置し、専門の手技に対応できるシミュレーション教育機材(Simulator)が数多く配置されています。基本的な専門的な医療技術・技能(テクニカルスキル)とともに、状況把握やコミュニケーション、チームワークといったノンテクニカルスキルを学ぶ場として学内医療系各学部生だけでなく、徳島大学病院や関連医療機関すべての医療職に携わる人々に利用されています。



低侵襲手術手技トレーニングプログラム

徳島大学では優れた外科医を養成する卒前卒後一貫教育として、各種シミュレータを備えたスキルズ・ラボ、生豚に対応したメディカルトレーニング・ラボ、未固定遺体に対応したクリニカルアナトミー・ラボを活用し、「未固定遺体とシミュレータを用いた新たな実践型内視鏡下低侵襲手術トレーニングプログラム」に取り組んでいます。

医療教育開発センターでは岩田貴副センター長が中心となり、医学科臨床実習学生を対象に高機能シミュレータを用いた腹腔鏡手術手技実習を行っています。



中心静脈カテーテル(CVC)挿入個別講習会(シミュレーション教育)

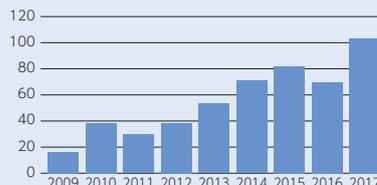


超音波ガイドを使用した中心静脈カテーテル挿入方法、およびその介助方法を修得する講習会です。毎月2回、定員2~3名で開催されており、少人数で効果的に学ぶことができます。ビデオフィードバックを用いて、自分の手技を客観的に見直すことができます。徳島大学研修医をはじめ、徳島県下の病院から多くの研修医・医師が学んでいます。

2019年度実績

受講者のべ人数: 129名
 受講者所属施設:
 徳島大学病院、徳島市民病院、
 徳島県立中央病院、健生病院

年度別受講者数



理工学部学生による医療ラボ実習



2019年4月26日(木)理工学部学生 5名「次世代“光”創出・応用による産業振興・若者雇用創出計画」(地方大学・地域産業創生事業)における医光融合プロフェSSIONAL人材育成の一環として、理工学部学生を対象に心臓病診察と呼吸音聴診シミュレータを用いた実習を行いました。

高大連携高校生医学体験実習/見学



高大連携事業の一環として、毎年、医療に興味をもつ高校生を対象とした体験実習を実施しています。

《内容》聴診 縫合 手洗い 採血
 救急蘇生 腹腔鏡基礎トレーニングなど

医学教育に関する研究実績(医療教育開発センター関係)

論文等

Miyamoto T, Akaishi A, Takagai T, Kida K, Akaike M, Yanagawa H. Implementation of clinical research coordinator hospital certification course to spread understanding of clinical trials. Jpn J Clin Pharmacol Ther 49(1):7-11, 2018
 植野美彦, 関 陽介, 赤池雅史, 野間口雅子. 【資料】教育運動型AO入試の設計と実施—地方

国立大学における研究医の養成・確保をめざして— 大学入試研究ジャーナル 30: 207-213, 2020

坪井光弘, 青山万理子, 滝沢宏光, 吉田光輝, 岩田 貴, 赤池雅史, 金山博臣, 鶴尾吉宏, 丹黒 章. 内視鏡手術の教育システム 日本内分秘外科学会雑誌 37(1):22-26, 2020

学会発表

岩田 貴, 長宗雅美, 吾妻雅彦, 島田光生, 赤池雅史: クリニカル・クラークシップでの手技実習の質的評価としてのルーブリック評価の有用性の検討. 第50回日本医学教育学会大会. 2018年8月3~4日, 東京

岩田 貴, 島田光生, 吉川幸造, 東島 潤, 宮谷知彦, 徳永卓哉, 西 正暁, 柏原秀也, 高須千絵: 学生の腹腔鏡理解のためのVR実習と質的評価としてのルーブリック評価の検討. 第31回日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月6~8日, 福岡

赤池雅史: 医師のキャリア形成と専門研修 第113回日本循環器学会四国地方会ダイバーシティシンポジウム「四国での専門医研修について語る」特別講演 2018年12月15日, 高松市

岩田 貴, 島田光生, 東島 潤, 徳永卓哉, 西 正暁, 柏原秀也, 高須千絵, 石川大地: 安全な中心静脈カテーテル(CVC)留置を目指したトレーニングシステムの構築・取組み・評価について. 第80回日本臨床外科学会総会, 2018年11月22~24日, 東京

Takashi Iwata, Kozo Yoshikawa, Jun Higashijima, Tomohiko Miyatani, Takuya Tokunaga, Masaaki Nishi, Hideya Kashihara, Chie Takasu, Mitsuo Shimada: Examination of the VR+AR training for understanding of regional anatomy in the laparoscopic training of the students. SAGES(米国内視鏡外科学会)2019, 2019年4月3~6日, ポルチモア

岩田 貴, 島田光生, 吉川幸造, 東島 潤, 宮谷知彦, 徳永卓哉, 西 正暁, 柏原秀也, 高須千絵: 学生の腹腔鏡実習における局所解剖理解のためのVR実習の検討. 第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月18~20日, 大阪

Takashi Iwata, Kozo Yoshikawa, Jun Higashijima, Tomohiko Miyatani, Takuya

Tokunaga, Masaaki Nishi, Hideya Kashihara, Chie Takasu, Mitsuo Shimada: Investigation of qualitative evaluation using Rubric and the VR+AR training of regional anatomy in the laparoscopic training of students. 欧州内視鏡外科学会(EAES)2019, 2019年6月12~15日, セビア

岩田 貴, 島田光生, 吉川幸造, 東島 潤, 宮谷知彦, 徳永卓哉, 西 正暁, 柏原秀也, 高須千絵: VR+AR実習は学生の腹腔鏡模擬手術実習における局所解剖理解に対するVR+ARの有用性について. 第44回日本外科系連合学会学術集会, 2019年6月19~21日, 金沢

岩田 貴, 島田光生, 吉川幸造, 東島 潤, 宮谷知彦, 徳永卓哉, 西 正暁, 柏原秀也, 高須千絵: VR+AR実習は学生の腹腔鏡模擬手術実習における局所解剖理解に有用である. 第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月17~19日, 東京

岩田 貴, 島田光生, 吾妻雅彦, 長宗雅美, 赤池雅史: VR+AR実習は学生の腹腔鏡模擬手術実習における局所解剖理解に有用である. 第51回日本医学教育学会大会, 2019年7月26~27日, 京都

吾妻雅彦, 長宗雅美, 岩田貴, 西岡安彦, 赤池雅史: 電子聴診器を用いた呼吸音聴診教育についての取り組み. 第51回日本医学教育学会大会, 2019年7月26~27日, 京都

岩田 貴, 島田光生, 吉川幸造, 宮谷知彦, 徳永卓哉, 西 正暁, 柏原秀也, 高須千絵: 学生の腹腔鏡模擬手術実習における局所解剖理解に対するVR+ARの有用性について. 第6回日本外科教育研究会, 2019年7月13~14日, 北海道

金山博臣, 鶴尾吉宏, 赤池雅史, 後東知宏: これからの泌尿器科手術教育-CSTの現況と展望. 第108回日本泌尿器科学会総会(招待講演), 2020年4月23日~26日, 神戸